

このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

「進路の学習」の3つの柱

- 1 自分のよさや得意なことを見つけさせ、それらを進んで生かそうとする意欲や態度を育てる。
- 2 様々な生き方、社会参加の仕方があることを理解させる。
- 3 「何を大切に生きて生きるか」ということを考えさせる。

前回の続きで、

2 「様々な生き方、職業について理解する」ために、どのような「進路の学習」をしているの？



「**生き方には多くの選択肢があること**」を中学生の時期に知ることは、自分を生かし、自分らしく生きていくために必要な事です。特に、職業については将来の生き方に深く関わってきますので、よく理解することが大切です。

そこで、学級活動の時間を中心に職業について学びます。個々の職業の特性やその職業に就くために必要なことから等についても学習しますが、「**人は仕事に就き働くことで、互いに支え合い生活している。**」という社会の仕組みを理解してほしいと思います。

また、「職業」と「学ぶこと」の関係を理解するための学習をしています。自分の能力や知識・技能によって、自己を生かす機会や可能性を広げることができることに気づき、今後も急速に変化する社会で、学び続けることの大切さを自覚できるようにしています。

じゃあ、

3 「何を大切に生きて生きるのか」を考える「進路の学習」ってどういうものなの？



様々なライフスタイルがある時代だからこそ、「**自分は、何を大切に生きて生きるのか**」という生き方の道しるべとなるべき価値観を、生徒に身に付けさせることが必要です。

このための学習は、**学級活動の時間だけでなく、各教科や道徳、日光みらい科等**でも行われています。望ましい職業観や勤労観を育てると同時に、どのような地域活動や生涯学習に参加するのか、どのような余暇生活を送るのかということも含めて考えさせ、**目的をもって前向きに生きようとする**意欲や態度を培うような活動です。